

## 令和3年度 事業所向け放課後等デイサービス評価表

## ハッピーテラス与野本町教室

集計日:令和3年12月15日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		ガイドラインに沿ってスペースを確保している。基本的に個別での対応になる為、充分にスペースが確保されている	個別トレーニングにて最大3名のお子さまが指導訓練室にて活動を行いますが、各担当指導員が事前共有を図り、運動のタイミングを調整する等の対策を行って参ります。
②職員の配置数は適切であるか	○		児童発達支援管理責任者1名・児童指導員4名(常勤2名・非常勤2名) 利用者10名に対して3名以上の職員を配置して行っています。	トレーニング終了後のフィードバックの時間にて、1名の指導員が複数名のお子さまの対応をさせていただくことがあります。その際は、怪我やアクシデントを避けるような対応をさせていただきます。
③事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	車いすを利用されている方が現在利用されていないこともあり、トイレ等の設備に関して、充分なバリアフリーが成されていないといえます。	今後、対象となる方のご利用希望があつた際には、適時対応を行って参ります。
④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		朝礼終礼を通じて改善事項の共有を行っています。	話し合いの結果、決定した事項については納期を設けて実行を促している
⑤保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に2回実施している。改善が必要なものに関しては、話し合いにより策を出している。	いただいた声に対して対応した点について教室で掲示する等して公開をしている
⑥事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所内掲示がホームページを利用して、周知を図っている	事業所内掲示の実施を今年度から始めたことで、保護者様が情報にアクセスしやすい環境を整えた。
⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在実施できておりません。	今後実施することを社内でも協議する等前向きな対応を取って参ります。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間で勉強会のスケジュールを組んでおります。教室内における勉強会や全社的な勉強会の実施ができます	今後各自治体にて行われる集団指導へも参加し、資質の向上に努めております。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		おおむね3か月を目途に教室内で会議を行い個別支援計画を作成し、保護者面談にて同意を得て支援しています	スケジュール調整が難しい保護者様の場合には電話面談に切り替えて、目的をもって面談を進めております
⑩子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		会社のシステムを活用しながら、個々にアセスメントを行っています。	今後もアセスメントツールを元にケース検討を実施し、より質の高い支援を提供してまいります。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		全社で年間スケジュールが作成されており、教室内でも必要に応じて対応している	個々に行う部分が多い為、チーム全体で声掛け、立案を積極的に行える環境づくりを努めてまいります。
⑫活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		利用者や個々の状況、課題に合わせてプログラムを作成している	職員が固定化しないように配分を行い、人的にも内容的にも固定化しないように今後も配慮を行っていく。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>		時季によって枠組みの変更等は行っていないが、利用者の状況に応じて課題設定を行っている	個別療育の特色を活かして、よりきめ細やかに状況を見極め、サービスを行ってまいります。
⑭子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		個別と集団それぞれの特色を活かして、作成を行っている	個別のみのご希望をされている方に、必要に応じて小集団活動への参加も適宜促してまいります
⑮支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		朝礼を通じて活動の共有や個々の子どもの状況に応じて注意点の確認を行っている。	今後も活動内容での配慮、環境設定の打ち合わせを徹底して行ってまいります。
⑯支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	<input type="radio"/>		終礼を通じて行っている。利用者の状態や保護者からの相談事項の共有を行っている	トレーニング終了後に、各担当が振り返りを行ったり、必要に応じて全指導員でケース会議を行う等の対応を強化してまいります。
⑰定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		おおむね3ヶ月を目途に教室内でケース会議を実施している	今後もケース検討などを定期的に行い、お子さまの支援計画を全指導員が把握することが出来る環境を作ってまいります。
⑱ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿って必要な活動内容の提供をしている	組み合わせ内容も固定化されないよう、提供内容を職員全体が把握することで、お子さまの成長に合わせた支援内容になるよう努めてまいります。
⑲障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>		適切な職員の選出を行い利用者に合わせて支援になるように会議を行っています。	担当者会議の出席者が、教室の指導員に共有し、支援内容に反映させられるよう今後も努めてまいります。
⑳学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	<input type="radio"/>		保育所等訪問を行っているとともに、保護者のニーズに応じて学校の訪問を行っている	今後も保護者の依頼に応じて、枠を拡大していく様に人員配分を行っていく
㉑医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		<input type="radio"/>	現状該当される方がいない	今後受け入れる場合には、保護者や医師との連携を取って参ります。
㉒就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input type="radio"/>		保育所等訪問を活用して積極的に活用を行っているとともに必要に応じて個別の訪問を行っている	保護者のニーズに応じて活動を広げていくための人員体制や時間の確保について積極的に話し合って参ります
㉓学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		<input type="radio"/>	現在該当の実績はありませんが、情報提供は行っています。	必要に応じて、相談支援事務所や各福祉サービス事業所とのカンファレンス等積極的に機会をもうけています。

②児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>		相談支援事業所と電話でモニタリングを定期的におこなっています。その際に、必要な助言と共有を行っています	状況に応じて積極的に訪問を行う等しながら、より密な連携に努めて参ります。
⑤放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		<input type="radio"/>	感染症対策を優先しているために行っていない。	今後は地域のリソースを知り、営業活動を積極的に行う等しながら、連携を図っていく
⑥協議会等へ積極的に参加しているか		<input type="radio"/>	機会に触れることができずに、参加ができておりませんでした。	各自治体から通知から情報を得ることで、協議会へ参加する機会を作つてまいります。
⑦日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>		フィードバックの時間の時間を通じて充分に行なうことができているとともに、定期的な面談を設けることで、より緊密な信頼関係を保持する努力をしています	保護者様が来所されていない生徒さんにおいても、電話や面談等を通して密に連携を図つて参ります。
⑧保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		<input type="radio"/>	感染症対策に応じて、積極的な実施がでていなかった。	状況や保護者のニーズに応じてジ実施を前向きに検討していく。
⑨運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		契約時に説明を実施しているとともに、保護者スペースに掲示している	今後も事業所入口に掲示し、周知を図つてまいります。
⑩定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>		3か月に1度の定期面談を実施するとともに、フィードバックの時間を使って行っている	今後も仕組みを確立するとともに、必要に応じた臨機応変な対処を行つていく
⑪父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>	現在実施していません。今後行なうことを行なうことを社内でも協議していく等前向きな対応を取つて参ります。	ニーズに即して、保護者様同士の交流会を実施する等、必要な提案を行つていく
⑫父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>	上記に同じ	上記に同じ
⑬子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>		対応の体制は開示して、周知を行つてある	フィードバックの時間を活かして、事前対策を行うこと、起こった場合に対する対処を適切に行なうことを徹底する
⑭定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>		通信や予定表の配布等を定期的に行つてある	SMSでも合わせて発信していく等、保護者の状況に合わせて、より情報が得られやすいような発信手段を考慮していく
⑮個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>		個人を判断できるものを書庫に保管している。印刷物を極力伏字で行つてある	情報の取り扱いについて、定期的な見直しを行い、凡事徹底を図つていく。
⑯障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>		言葉でのコミュニケーションだけではなく、イラストカードや個人に合わせてツールを作成し、意思疎通を図つています。	個々様々な特性を持つ子ども一人ひとりに対して、必要なツールを作成する等、よりきめ細かい配慮を行つていく

⑩事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	感染症対策に配慮すると積極的に行うことができていなかった	感染症の状況によって機会を設けることや別の角度から地域に開かれた事業所運営をおこなっていく
⑪緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○	保管をしています。着任後の初期研修の際に、職員には周知徹底を行い、必要に応じて勉強会等の機会に活用を行っています。保護者への周知については、利用契約時に契約事項と併せ、説明を行っています。	会社に組織された委員会をもとにさらに活動が推進されています。自教室にも委員会に定期的に参加するものを設けて、情報をより得やすい環境においていきます
⑫非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	避難計画を策定し、年2回の避難訓練、救出訓練を行っています。	今後も実施を定期化するとともに、近隣消防署と協力し、避難訓練に関するイベントも実施し、啓発活動にも努めています。
⑬虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	弊社運営管理室の指導の下、虐待防止委員会を組織し、年1回虐待防止チェックリストを作成しています。また、着任後の初期研修で児童虐待、施設内虐待、障害者虐待についての基礎知識を学び、防止に努め、教室内勉強会でも、同様の研修を行っております。外部の虐待防止に関する研修にも、年1回管理者が出席をし、他の職員に共有しております。	今後も定期的な勉強会を実施するとともに指導員への意識を高めてまいります。
⑭どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在事例はないが、契約時に可能性の示唆は行い、丁寧に説明をしている。	緊急の場合は保護者様に承諾を得ることで、指導員が対応させていただきます。
⑮食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	契約時にアレルギーの有無は確認している。実際に食事を提供する場面がないために対応自体は行っていない	今後、必要に応じて医師の指示書に沿っての対応を行って参ります。
⑯ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット・アクシデントが起きた際には、その日のうちに事業所内で共有を行っています。	今後もヒヤリハット・アクシデントが起きた際には、迅速に教室内で、共有し、対策などを検討し実施してまいります。